

幼稚園だより

令和8年 2月 9日

2月号

荒川区立花の木幼稚園

園長 竹下 佳余

心豊かな時間

主任教諭 小川 麻友美

今年度の節分は、第九峡田小学校5年生と交流しておこないました。5年生が考えた「鬼は怖い鬼だけではない！優しい鬼もいるから助けてあげよう！」という優しい気持ちがこもった内容でした。園児も小学生も豆まきを元気いっぱい楽しい時間となりました。そして「立春」となり、季節は春に向かっていきます。先日、公園でメジロを見かけました。園児達も身近な自然の変化を感じられる経験を、味わって欲しいと願っています。

1月15日（木）に『聞かせ屋。けいたろうさん』がトランクに絵本や紙芝居を詰め込んで、読み聞かせをしてくださりました。その姿を見て、昔、海外で出会った絵本作家の方を思い出しました。その作家の方は、「絵本はね。海がない国の子どもを海の世界に連れて行ってくれたり、宇宙に行けたりもできる。想像できるってことは素敵なことで心を豊かにしてくれると思う。」と話してくれました。その方は、バスに絵本を乗せ運転し、移動図書館として子ども達に絵本の読み聞かせなどを行っていました。そして、本園の園児たちも「けいたろうさんのトランクから何が出てくるのだろう！」と目を輝かせて見つめ、お話を聞いていました。物語の世界に入り込み一喜一憂している表情が印象的でした。本園では、カンガルー文庫として、親子で絵本を選ぶ日があります。忙しい毎日ですが、保護者の方が「読みたい！」という絵本を探してみてください。そして、時には、自分のためにじっくり読む時間を作ってみてください。大人の心にも絵本は豊かな時間をプレゼントしてくれると思います。

今月も、保護者の皆さまと力を合わせて子ども達の成長を見守っていきたいと思います。ご協力の程、よろしくお願いいたします。

今月の保育のねらい

《3歳児：ひよこ組》

- ・友達や教師と一緒に表現遊びを楽しむ。
- ・一緒に遊ぶ中で自分の思いを伝えたり、相手の気持ちに気付いたりしていく。

《4歳児：こあら組》

- ・興味のあることにじっくり取り組むことを通して、自信や意欲を育む。
- ・友達と共通のイメージをもって、自分なりに表現したり、友達と一緒に動いたりすることを楽しむ。

《5歳児：いるか組》

- ・互いの良さを認め合いながら、意欲的に遊びや生活を進める。
- ・繰り返したり、試したりしながら、自分なりの課題に取り組もうとする。

